

○ チョウジ(丁子)

語 源

学名 フトモモ属 *Syzygium* は、ギリシア語 syzygos 「結合された」「互いにくびきで結ばれた」という意味で、枝、葉が対になっていることから付けられた。属名の和名の元となったフトモモ(蒲桃 *Syzygium jambos*)は、中国語「プータオ(蒲桃)」が「プートー」「フト」に変わったもの。*aromaticum* は「芳香性の」という意味。漢名の丁子とは、花蕾が釘に似ているため、中国で釘を表す「丁」の字が用いられた。フランス語でも釘を意味する clou クロウと呼ばれた。英語に入り clove 「クローブ」になる。



基 原

Syzygium aromaticum Merrill et Perry チョウジ
フトモモ科 常緑小高木

チョウジは、薬用のみならず、香水、防虫剤、たばこの香料の原料としても利用される。日本にも古くから伝わっており、正倉院の御物の中にも含まれている。香りが強いため、「ヒャクリカ(百里香)」という別名がある。

薬用部分

つぼみ

産 地

東アフリカ、マダガスカル、インドネシアなど

4世紀ごろ地中海地方に知られていたが、原産地がモルッカ諸島であることは15世紀の中期に判明した。1606年以降これらの諸島を領有したオランダ政府により専売制がしかれたが、18世紀にはアフリカに伝えられ、現在はむしろこの地方に多く産する。



主な成分

精油： オイゲノール、オイゲノールアセタート、チャビコール、バニリン、 β -カリオフィレン、フムレンなど
タンニン： オイゲニン、1-デスガロイルオイゲニン、2-デスガロイルオイゲニン
その他： 脂肪油ろうなど

主な薬効

鎮静、一過性血圧降下、子宮収縮、局所麻酔、抗菌

代表的処方

漢方処方用薬であり、吃逆(しゃっくり)抑制薬とみなされる処方及びその他の処方に少数例配合されている。また、粉末を芳香健胃薬として配合剤(胃腸薬)の原料とする。

【治打撲一方】

チダボクイッポウ、ジダボクイッポウ

体力に関わらず使用でき、はれ、痛みがあるものの次の諸症： 打撲、捻挫
(処方内容) 川芎/樸椒(桜皮)/川骨/桂皮/甘草/丁子/大黃

【丁香柿蒂湯】

チョウコウシテイトウ

体力中等度以下のものの次の諸症： しゃっくり、胃腸虚弱

(処方内容) 柿蒂/桂皮/半夏/陳皮/丁子/良姜/木香/沈香/茴香/藿香/厚朴/縮砂/甘草/乳香

【女神散】

ニョシンサン(※女神湯 ニョシントウ)

体力中等度以上で、のぼせとめまいのあるものの次の諸症：産前産後の神経症、月経不順、血の道症、更年期障害、神経症

(処方内容) 当帰/川芎/白朮(蒼朮)/香附子/桂皮/黄芩/人參/檳榔子/黄連/木香/丁子/甘草/大黃

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562

URL: www.fukudaryu.co.jp

Power of Kanpou